

和光市長寿あんしんプラン
(第9期和光市介護保険事業計画)
変更箇所一覧

No	ページ	章	節	内 容	別紙添付
1	31	2	4	図表2-24要介護(要支援)認定者の推移で、第2号被保険者を含む認定者数を掲載していましたが、注釈に記載していなかったため、「(第2号被保険者を含む)」を追加	有
2	33	2	4	図表2-28地区別認定者数で、地区別認定者の割合(%)を算出し、介護度別の認定者数に乘じることで算出していましたが、小数点以下の計算により合計値が一致していなかったため図表等を修正	有
3	34	2	4	図表2-29エリア別認定者数で、小数点以下の計算により合計値が一致していなかったため図表等を修正	有
3	34	2	4	図表2-30エリア別要介護度別構成比で、図表2-28の数値を修正したことにより構成比を変更	有
4	82	4	2	一般介護予防事業のうえるかむ事業から、「オアシス和光」、「ひかりのさと」が終了 一般介護予防事業の「喫茶サロン」が終了	
5	92	4	3	(6) 認知症検診の実施の対象者について、②前年度の年齢(4月1日時点)が65歳、69歳に変更 (73歳を削除)	
6	109	4	3	(4) 介護保険利用料助成(一般財源)の内容について、所得段階4が対象外に変更 (4) 介護保険利用料助成(一般財源)の範囲が、住宅改修・福祉用具購入費・施設サービス等の食費及び居住費を除く介護給付費全般、訪問型サービスA、通所型サービスAに変更	
7					
8					
9					
10					
11					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

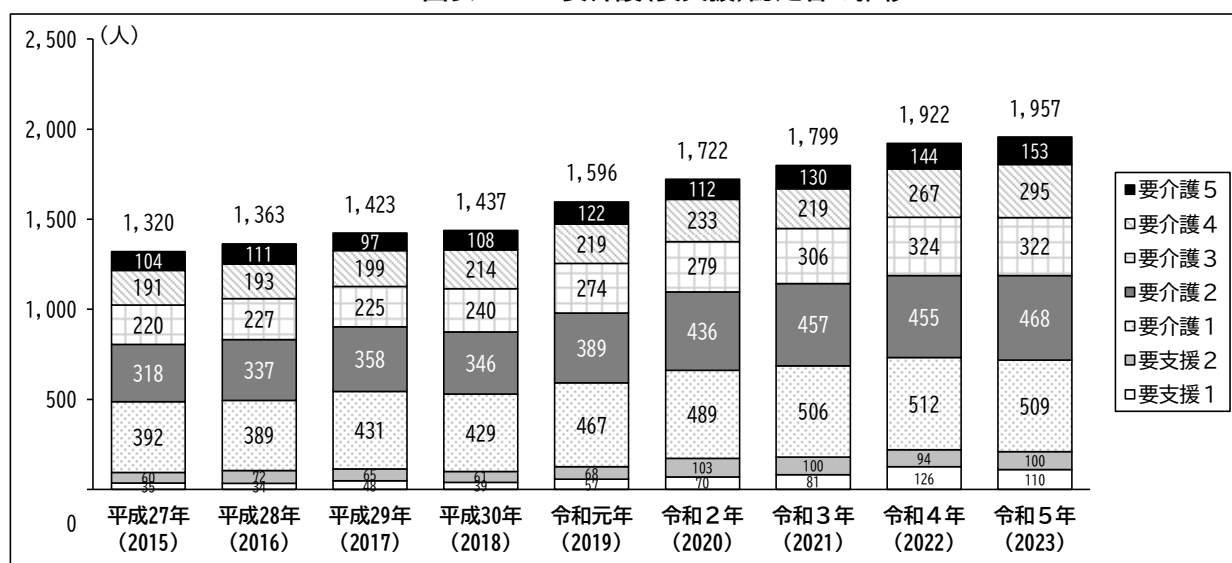
第4節 介護保険事業の現状

1. 要介護（要支援）認定者数・認定率の推移

要介護（要支援）認定者数の推移をみると、高齢者数の増加とともに増加基調が続いています。要介護度別では、要介護1・2といった軽度者の増加が顕著です。

第1号被保険者における、要介護（要支援）認定者数の割合（認定率）は、平成30年以降、上昇傾向となっていますが、令和5年3月末現在、和光市は12.5%で、全国（19.0%）や埼玉県（16.7%）の値を大きく下回ります。

図表 2-24 要介護（要支援）認定者の推移



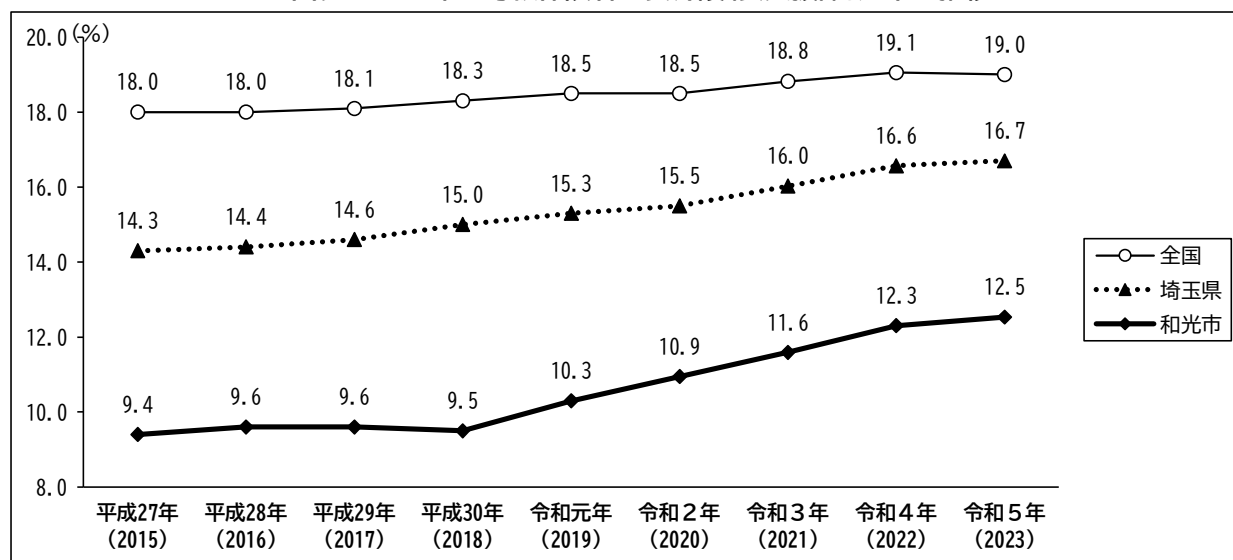
資料：和光市「介護保険事業状況報告」から作成（各年9月末時点）

※令和5(2023)年は3月末時点（第2号被保険者含む）

追加

認定者数が第2号被保険者を含むものであるため、注釈を追加。

図表 2-25 第一号被保険者の要介護（要支援）認定率の推移



資料：厚生労働省・和光市「介護保険事業状況報告」から作成（各年9月末時点）

※令和5(2023)年は3月末時点

3. 地区別認定者数

地区別に要介護（要支援）認定者数をみると、最も多いのは本町（236人）で、次いで白子2丁目（200人）、南1丁目（197人）、新倉2丁目（169人）、白子3丁目（156人）、新倉1丁目（150人）、白子1丁目（139人）などが続いています。

エリア別では、北エリアが745人で最も多く、次いで南エリア636人、中央エリア532人の順になっています。

図表 2-28 地区別認定者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
白子3丁目	9	14	33	36	25	26	13	156
白子4丁目	0	0	1	0	0	1	0	2
新倉1丁目	9	11	47	33	19	22	9	150
新倉2丁目	10	8	58	31	25	22	15	169
新倉3丁目	1	2	6	8	8	9	1	35
新倉4丁目	0	2	0	0	2	1	3	8
新倉5丁目	0	0	0	0	0	0	1	1
新倉7丁目	0	0	0	0	0	1	0	1
新倉8丁目	0	0	2	3	2	10	2	19
下新倉1丁目	4	1	6	6	2	3	2	24
下新倉2丁目	1	0	11	10	7	2	5	36
下新倉3丁目	7	3	15	8	14	8	4	59
下新倉4丁目	2	5	6	13	7	13	4	50
下新倉5丁目	3	1	6	10	3	4	3	30
下新倉6丁目	0	0	0	4	0	1	0	5
北エリア計	46	47	191	162	114	123	62	745
西大和団地	17	5	45	35	16	10	6	134
本町	23	28	52	34	44	35	20	236
中央1丁目	3	2	2	6	2	1	6	22
中央2丁目	1	1	10	11	5	9	5	42
丸山台1丁目	1	0	4	0	1	3	1	10
丸山台2丁目	3	3	22	14	6	10	3	61
丸山台3丁目	2	0	3	3	1	2	1	12
広沢	1	0	5	2	3	1	3	15
中央エリア計	51	39	143	105	78	71	45	532
南1丁目	2	7	54	59	38	24	13	197
南2丁目	0	1	6	9	9	8	2	35
白子1丁目	5	4	32	40	26	23	9	139
白子2丁目	11	5	52	53	34	31	14	200
諏訪	0	0	0	4	0	3	1	8
諏訪原団地	1	3	20	16	10	3	4	57
南エリア計	19	20	164	181	117	92	43	636

資料：和光市資料から作成（令和5（2023）年3月末時点）

※広沢は中央エリアとして整理

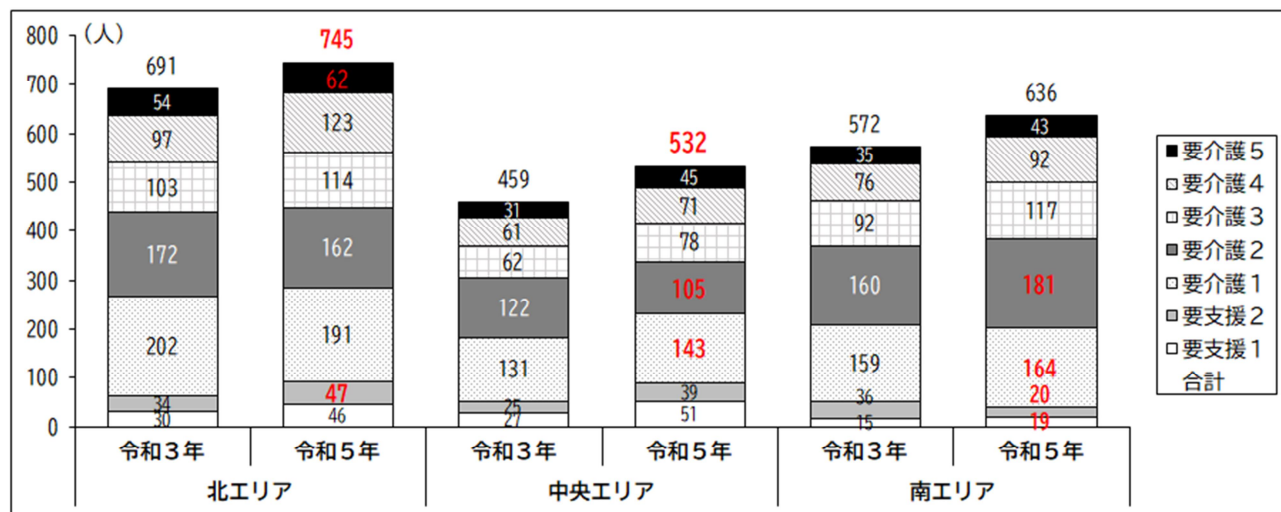
{ 修正 }

地区別認定者の割合(%)を算出し、介護度別の認定者数に乘じることで算出していましたが、小数点以下の計算により合計値が一致していなかったため図表等を修正

エリア別の認定者数を2年前と比較すると、北エリアで54人、中央エリアで73人、南エリアで64人増加しており、中央エリアの増加が顕著です。

エリア別に要介護度別構成比をみると、中央エリアで軽度者の割合が比較的高い一方、要介護4・5の重度者の割合が低くなっています。

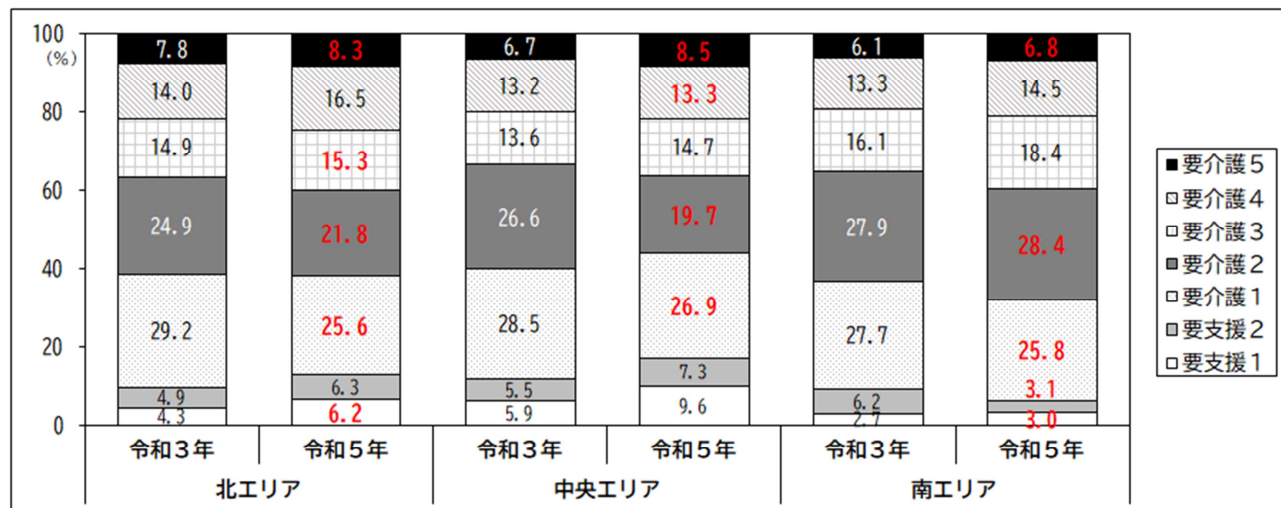
図表 2-29 エリア別認定者数（令和3（2021）年、令和5（2023）年）



資料：和光市資料から作成（各年3月末時点）

{ 修正 }
小数点以下の計算により合計値が一致していなかったため図表等を修正

図表 2-30 エリア別要介護度別構成比（令和3（2021）年、令和5（2023）年）



資料：和光市資料から作成（各年3月末時点）

{ 修正 }
P33 図表 2-28 地区別認定者数の修正により構成比が変更